

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊丹市平松五丁目計画	階数	地上7F
建設地	兵庫県伊丹市平松5丁目46番、47番	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、建築基準法第22条地域	平均居住人員	93人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年12月24日
敷地面積	1,460㎡	作成者	山口隆幸
建築面積	828㎡	確認日	
延床面積	3,128㎡	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 65%
③上記+②以外の 65%
④上記+ 65%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
住戸部で性能評価等級4以上を確保し、熱負荷を抑制した計画としている。	特になし。	
Q1 室内環境 F★★★★の建材を使用し、空気質汚染対策に配慮している。	Q2 サービス性能 CAT-5Eを採用し、高速通信が利用できるように配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー Low-Eガラスを使用するなど、高断熱設計し熱負荷抑制するよう配慮している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を利用し、非再生性資源の使用料を削減するよう配慮している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を92%に抑え、温室効果ガスによる地球温暖化の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される